

---

---

## トップインタビュー

---

---

ヤマトロジスティクス株式会社 代表取締役社長 金森均

### 「できたらいい。でもできない」を変えるチカラ ロジスティクスリノベーションへの覚悟

これまで、東北の水産業や農業から私たちが得てきたものは、はかり知れません。少しでも恩返しできるよう、私たちは今でも物資の輸送やボランティアはもちろんのこと、水産業、農業の再生へ向けた「宅急便1個につき10円の寄付」をヤマトグループ全体で取り組んでいます。

今回の震災で壊れてしまったものが、元に戻るかどうかはわからない。であるならば、やり方そのものを変えるチャンスであると。これからは、もう一步前に進みたい。進めたい。私たちのソリューションで物流の新しいビジネスモデルを創っていきたい。そう考えています。

そのためのキーワードは3つあります。

- 1つめは、「ボーダレス」。
- 2つめは「分散」。
- 3つめは「ちょっとしたムリは、きっとできる」です。

#### 「ボーダレス」

ヤマトグループでは、3年前の3か年の経営計画を発表した当時から、ボーダレス、つまりもはや国境を意識せずに動く物流に注目してきました。

世界の生産や消費活動が多極化し、企業のサプライチェーンは著しく複雑になっています。顧客は物流に情報や決済を組み合わせたソリューションを必要としており、事業地域だけでなくニーズもボーダレス化。我々のグローバル調達支援サービスは、世界中の在庫や受発注を見える化し、そうしたBtoBの企業活動を支援するために開発したものです。



#### 「分散」

元々、企業は在庫削減を重要な課題としていましたが、東日本大震災では集中や効率化のリスクも明らかになりました。実際に物流の分散化に取り組む企業も出てきていますが、在庫や輸送コスト、時間が増えてしまうといった問題を抱えています。



(1ページより続く)

それを解決するのが、私たちが開発したFRAPS(フラップス)です。FRAPSとは、フリーラックオートピックシステムの略称で、ロジスティクスとITを融合し、日本全国津々浦々に張り巡らされたヤマトグループならではの拠点を活用した仕組みです。

例えば、在庫本体は顧客の工場に持ち、宅急便ターミナルに直結した私たちのロジセンターに3日程度の在庫を置くことで、在庫を分散しつつスピーディに配送ができ、しかもロジセンターで商品のマージを行うことも容易といった具合です。

### 「ちょっとのムリは、きっとできる」

プロになればなるほど、ニーズに対し、素直に考え、愚直に実行することが難しくなります。つい計算してダメだと思ってしまうんですね。

サービスを提供する側にとっては一見ムリなような、通販商品を注文した当日に受け取れたら良いというニーズから、Today Shopping Service(TSS)が生まれました。注文から最短4時間で商品が届くサービスです。TSSもFRAPSも、「ちょっとムリ」と諦めず、顧客が「必要だ」と言うことに真摯に取り組み、実現できた例です。



ヤマトグループは、誰もが社訓をそらんじています。目指すところはひとつ(社訓)で、お客様のために自律的に考え、行動する、ヤマトの原点は常に「お客様の想い」なんです。これから社会、経済がどうなっていくか正直、わかりません。わからないけれども、社会やお客様にとって本当に大切なことは変わらない。そんな気持ちで肅々と仕事に取り組んでいく。それが、これからのロジスティクスリノベーションに向けた私たちの覚悟です。

## 【ご報告】9月の「宅急便ひとつに、希望をひとつ入れて。」活動

### ◆ 「宅急便ひとつに、希望をひとつ入れて。」

宅急便1個につき10円を被災地の生活基盤と水産業・農業の再生資金として寄付する活動を進めています。

#### 9月の宅急便取扱い個数と寄付予定金額

##### 【取扱い個数】

9月…1億656万3,477個      累計/6億8,315万5,742個(4月～9月)

##### 【寄付予定額】

9月…10億6,563万4,770円      累計/68億3,155万7,420円(4月～9月)

宅急便ひとつに、  
希望をひとつ入れて。



ヤマトグループ

「宅急便ひとつに、希望をひとつ入れて。」サイト

URL: [http://www.yamato-hd.co.jp/information/info/contribution\\_1104.html](http://www.yamato-hd.co.jp/information/info/contribution_1104.html)

# 新 着 情 報

ヤマトグループ各社、各地域での様々な取り組みを詳しくお知らせします。

## 24時間365日対応で「お客様の稼働をとめない」自動車整備工場を群馬県にオープン

ヤマトオートワークスは、10月12日(水)、群馬県前橋市に年間4,800台の車検作業が可能な車両整備工場「スーパーワークス群馬工場」をオープンしました。

車両を一度もバックさせずに作業を終えられる「一筆書き」の作業動線や夜間でも懐中電灯を持つことなく両手で作業ができる「床照明」に加え、これまで数名で作業していた大型タイヤの脱着を1名・2～3分で可能にする機器を開発、導入しました。また、北関東道 前橋南インターから5分に位置する為、車両の引き受け・お届け時間を短縮し、スピーディな納車を実現します。



### ヤマトオートワークス株式会社 代表取締役社長 佐々木 敬史郎

.....  
これまでトラック・バスの点検・整備には、2～3日かかるのが常識とされてきました。作業効率を追求したスーパーワークス群馬工場では、高品質な整備作業はもちろん、1分・1秒でも時間を短縮し、群馬県内のトラック・バス事業者様の稼働率・回転率向上に寄与し、お客様の稼働をとめない点検・整備を目指したい。



## 5年間の無償修理が受けられ、より安心便利に家電の購入ができる インターネット通販向け「クロネコ延長保証サービス」を開始

家電量販店等のアフターサービスと比べると、購入後の修理まで対応できないインターネットショップが多く、購入をためらう方が多くいらっしゃいます。今回、ヤマトマルチメンテナンスソリューションズが新たに提供する「クロネコ延長保証サービス」は、家電メーカーの保証が切れた後でも、修理を無償で対応するサービスです。本サービスに加入するインターネットショップで家電を購入すれば、わずかな保証料で5年間の無償修理が受けられ、故障時には、無料で回収・修理・配送いたします。また、プレミアムプランでは、落下や水害などの偶発的な事故による故障にも対応いたしますので、今まで以上にインターネットショップで安心して家電を購入できるようになります。

## ヤマト包装技術研究所 2011日本パッケージングコンテスト「ロジスティクス賞」の受賞！

本コンテストは、国内のパッケージ技術の最高水準を決定するもので、優れたパッケージングとその技術の開発普及を目的に、社団法人日本包装技術協会が毎年主催し、今回が第33回目です。今回は、約40秒で包装でき、包装する物品の形状や大きさに合わせてフィットする成型機能と優れた緩衝機能を兼ね備えた“魔法のふろしき”と呼ばれる「Neco fit」シリーズ「FLIXタイプ12」が選ばれました。



# 新着情報

ヤマトグループ各社、各地域での様々な取り組みを詳しくお知らせします。

## あらゆるリコール情報が入手できる「リコールドットjp」をリニューアル

ヤマトマルチメンテナンスソリューションズでは、リコール・自主回収情報を集約した情報サイト「クロネコヤマトのリコールドットjp」を10月3日にリニューアルいたしました。

全メーカー/全製品の最新情報を掲載、2006年以降の情報を検索することができます。また、メールマガジンで、興味ある製品や世間で関心の高いカテゴリーの最新の情報を、自動的に受け取る事も可能です。

URL：<http://kuroneko-recall.jp/>

(PC、携帯電話、スマートフォン共通。アクセスする端末に合わせて自動変換されます)



スマートフォン版

## 誰でもパソコンを楽しめる「障がい者向けパソコン教室」スタート

ヤマトシステム開発は、10月より、障がい者の方の就労を支援する社会福祉法人ドリームヴィ様と協力して「障がい者向けパソコン教室」を開始いたしました。

障がい者雇用にパソコンスキルを求める求人が増えていますが、まずは、実際に操作してみる場を提供し、パソコンに親しみを持ってもらおうという取り組みです。システム開発を本業とする社員が、パソコンのセッティングからマウス操作、キー入力、Officeソフト(Excelやword)の指導を行っております。今後も毎月1回実施してまいります。



## 「歩くまち・京都 グッドデザイン」の受賞作品が決定！

ニューズレター第3号でお知らせいたしました「歩くまち・京都 グッドデザイン」の受賞作品が決定いたしました。大賞・優秀賞作品は、京都の街を走るヤマト運輸軽商用電気自動車・集配用ボックスコンテナのデザインに使用します。また、入賞作品計10点をヤマト運輸 京都主管支店管下の直営店に掲示します。(期間：平成23年11月～平成24年3月)



大賞



優秀賞